

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

JA伊万里GAP部会

JGAP

米(ホシユタカ)

<基本情報>

所在地：佐賀県伊万里市立花町1290-1

構成員：JA伊万里青年部 20名

栽培面積：米(ホシユタカ(長粒種)) 7ha

【経営理念】

伊万里産「ホシユタカ」のブランド化に向け、生産者、JA及び試験研究機関が連携し、栽培指針を定め高品質で安定した生産に取り組み、認知度向上と消費拡大に向けた活動を展開する。

耕作放棄地の解消とニーズにあった作付けを行う。

「生産したものを売る」から「売れるものを作る」に変える。



ホシユタカ



<GAP認証取得のきっかけ>

- 関東の**米穀小売店**から佐賀県を通じ、炒飯やカレーなどに適した**長粒米「ホシユタカ」の栽培提案**があり、伊万里市が栽培地となった。
- 国際水準GAP認証**が、**東京オリ・パラへの食材提供の要件**となったこと。

⇒ **令和元年9月 JGAP団体認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 生産者の**理解を得て意識を変えること**。
- 市・JAと連携したGAP認証取得の推進体制を確立するため、「伊万里・有田地区GAP地域推進協議会」を設立したこと。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 地域において、**GAPに対する意識が高まり、他の部会でも取組を検討**するようになった。
- 物品の**整理整頓**や**安全確認**を行うようになった。
- JAの他の倉庫**でも、リスク管理を行うなど、**組織全体への波及効果**があった。
- これまで、**勘に頼っていた生産管理**が見える化、デジタル化し、伝えることができるようになった。

【今後の意向】

- 輸出**を視野に入れた**販路拡大**。
- 販売先のニーズに合わせたGAP認証取得。
- JA伊万里全体**での**国際水準GAPの認証取得**。

<問合せ先>

TEL：0955-23-5560

レシピコンテンツを開
催し、消費者へGAPと
長粒米をPR



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

玉名の米所 八十八夜

<http://818ya.net/>

GLOBALG.A.P.

米

<基本情報>

所在地：熊本県玉名市 労働力：夫婦、両親、妹

<農場概要>

栽培面積：約7.9ha（水稻3.1ha、大豆2.4ha、麦（大豆裏作）2.4ha）

<経営の理念>

「食で人の体は変わる」



<GAPの取得のきっかけ>

- ・生産履歴の消費者等へのPR
 - ・農産物のブランディング
- 2018年 GLOBALG.A.P.取得
(水稻 2.3ha)

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆リスク評価（食品安全、農作業安全）

- ・慣習で行っていた清掃手順や頻度、作業場での飲食禁止、火気厳禁を書面にしたルールを作成
- ・慣行栽培で使用した機械（コンバイン、乾燥機等）を共用しており、交差汚染防止のため清掃

◆労働環境の整備

（ハード面の設置にかかる導入経費）

- ・GAP認証圃場は無肥料・無農薬であるが、慣行栽培圃場で農薬を使用するため保管庫を平成29年9月に新規購入
- ・作業場の蛍光灯をLEDに交換
- ・倉庫の防虫対策として網戸を新規設置



(農薬保管庫)

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆圃場毎に出荷袋を別にして、異物混入等が発生しても**最小限の回収**で済む体制を確立
- ◆手渡し販売ではGGAP認証していることで**お客様から好反応**
- ◆認証前に比べ手渡し販売の際に**生産履歴の説明が容易**



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農事組合法人 夢農塩

<https://www.yumeaguri.co.jp>

JGAP

米(粳、玄米)

<基本情報>

所在地：熊本県山鹿市

構成員：5名（2世帯（4名）、パート従業員1名）

栽培面積：5.3ha（水稻）

【経営理念】

「子や孫に安全安心な食べ物を食べさせたい」

農地に還元塩を散布する「還元塩ミネラル農法」で無肥料・無農薬での米栽培



<GAPの取得のきっかけ>

米の消費量が減少するなか、輸出を視野に入れ更なる販路確保のため、還元塩を使用した米栽培のほか有機JAS認証を取得。併せて農場管理のためJGAP認証も取得。



JGAP認証取得
2019年2月

<GAP認証取得後の効果>

- 農機具等の整理整頓を行うことで、適切な管理が可能となり、パート従業員へ適切な作業指示ができるようになった。
- 認証を受けたことで、販売会で消費者の目にとまるようになった。

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆書類作成等の事務

- ・今まで農業をする上で特に作成することのなかった多くの書類作成。
⇒コンサルタントの支援を受け対応。

◆危険予測・未然防止策

- ・生産工程における注意事項について、携わる全ての構成員が理解できるよう作成することに苦労した。

<今後の経営展開>

◆地域の農地をまもる

- ・地域の高齢化による農業者の減少に対応するため、販売部門の（株）夢アグリとの経営統合の視野に入れ農地を維持。

◆安全な食べ物の供給

- ・今後も無肥料・無農薬による米栽培と販売

◆新たな販路開拓

- ・有機JAS認証とGAP認証を活かした主食用米と米加工品（玄米パウダー、米糠パウダー、ぬか醬（醤油））の販路開拓。



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

久保さんちのお米（株）

JGAP

米

＜基本情報＞

所在地：大分県宇佐市下高家1463

構成員：4名（役員1名、従業員3名） 栽培面積：37ha
（うるち米13ha、もち米0.5ha、飼料用米23.5ha）

【経営理念】

○安心・安全ファースト

私達は、「自分の子ども達に食べさせる農産物を皆様に」をモットーに、安全・安心な農産物をお客様に届けます。農園で働く仲間とともに、より質の高い農産物を目指し、私達の農産物で皆様が幸せな気持ちになってもらえるよう日々努力しています。



＜GAP認証取得のきっかけ＞

- 「安心いちばんおおいた産農産物認証（大分県独自の安全性基準に基づいて栽培された農産物）」の取組から、**更なる取引拡大**を図るため。
- 法人化を契機**に、法令遵守や**持続可能な経営を目指すため**。

JGAP認証取得 ⇒ 令和2年9月

＜GAP認証取得で苦労したこと＞

- 三代続く農家のため不要品の整理整頓。
- 書類の整理、作成（データ入力を含む）。
- 食品安全・環境保全・労働安全のリスク管理の徹底。
- 各種のルール作りやマニュアル化。



＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

- 整理整頓ができたことで、作業効率が上がった。
- 農作業安全の意識が変わった。（講習会なども受講）
- マニュアルに基づく作業の徹底により、リスク軽減に繋がった。
- 日々の作業の中でも、生産工程管理に関する会話が出るようになった。
- 圃場作物の栽培履歴がデータ化されトレーサビリティが明確になった。



「今後の意向」

- 輸出マッチングに参加。**
- 販売先に応じて、GLOBALG.A.P**又は、**ASIAGAPの認証を取得。**



問合せ先

TEL0978-32-4831

<https://kubosantino-okome.com/>